

野村未来トレンド発見ファンド Aコース／Bコース (野村SMA・EW向け)

運用報告書(全体版)

第1期(決算日2024年12月6日)

作成対象期間(2024年8月19日～2024年12月6日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2024年8月19日以降、無期限とします。	
運用方針	グローバル・マルチテーマ マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、新興国を含む世界各国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、代替ヘッジによっても為替変動リスクの低減の効果が小さいあるいは得られないと判断した通貨については、為替ヘッジを行わない場合があります。	
主な投資対象	野村未来トレンド発見ファンド Aコース/Bコース (野村SMA・EW向け) マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 新興国を含む世界各国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村未来トレンド発見ファンド Aコース/Bコース (野村SMA・EW向け) マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	期 中 騰 落 率				
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2024年 8 月19日	10,000	—	—	100.00	—	—	9
1期(2024年12月 6 日)	10,811	10	8.2	105.47	92.1	—	84

* 基準価額の騰落率は分配金込み。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指数（＝「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円ベース・為替ヘッジあり）」は、MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、ヘッジコストを考慮して円換算したものです。設定時を100として指数化しております。
* MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所) MSCI

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 騰 落 率	価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(設定日)	円	%	%		%	%
2024年 8 月19日	10,000	—	—	100.00	—	—
8 月 末	10,018	0.2	1.1	101.09	92.0	—
9 月 末	10,203	2.0	3.9	103.89	92.4	—
10月 末	10,418	4.2	2.5	102.53	92.9	—
11月 末	10,658	6.6	3.9	103.87	93.7	—
(期 末)						
2024年12月 6 日	10,821	8.2	5.5	105.47	92.1	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

<Bコース>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		参 考 指 数	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 期 金 騰 落 中 率				
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2024年 8 月19日	10,000	—	—	100.00	—	—	1
1期(2024年12月 6 日)	11,203	10	12.1	108.63	94.5	—	691

* 基準価額の騰落率は分配金込み。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指数（＝「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）」）は、MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、基準価額への反映を考慮して、営業日前日のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスを営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。設定時を100として指数化しております。
* MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所) MSCI

○当期中の基準価額と市況等の推移

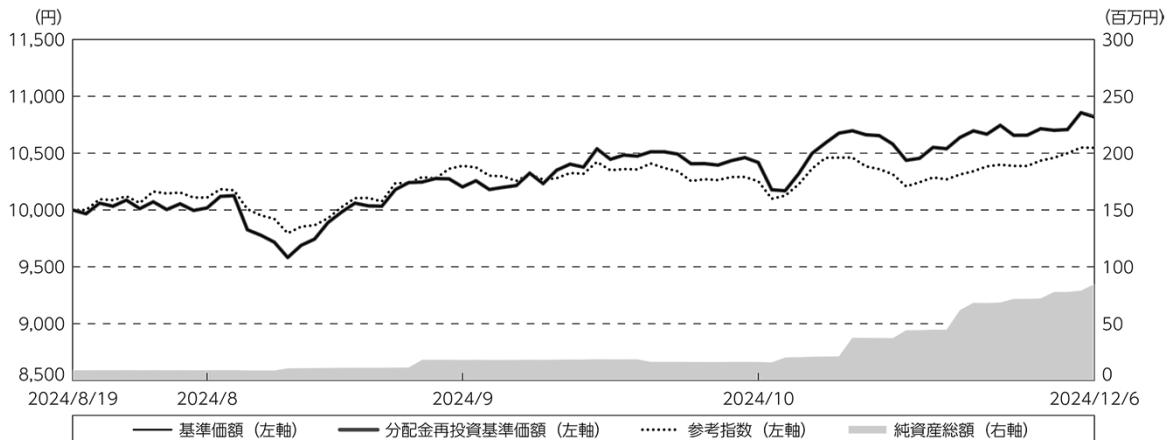
年 月 日	基 準 騰 落 率	参 考 指 数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(設定日)	円	%	%	%	%
2024年 8 月19日	10,000	—	—	—	—
8 月末	9,878	△ 1.2	△ 0.9	93.3	—
9 月末	10,043	0.4	0.9	92.4	—
10月末	10,980	9.8	7.6	92.9	—
11月末	11,088	10.9	7.4	95.1	—
(期 末)					
2024年12月 6 日	11,213	12.1	8.6	94.5	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：10,811円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率： 8.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円ベース・為替ヘッジあり）です。参考指数は、設定時を10,000として計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (下 落) 8月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことなどから景気悪化懸念が強まったこと
- (上 昇) FOMC（米連邦公開市場委員会）において政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRB（米連邦準備制度理事会）が労働市場を下支えする姿勢を明確化したこと、米半導体メーカーが9-11月期についてAI向けメモリー需要の高まりを受けて市場予想以上に好調な見通しを示したこと、9月の米非農業部門雇用者数が市場予想を上回り景気の底堅さが意識されたこと、トランプ米前大統領の再選により規制緩和によるM&A（企業の合併・買収）の活発化や減税の恒久化などが期待されたこと
- (上 昇) トランプ米次期大統領が財務長官に経済成長を重視するベッセント氏を指名したことなどが好感されたこと

＜Aコース＞

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円ベース・為替ヘッジあり）の騰落率が5.5%の上昇となったのに対して、基準価額は8.2%の上昇となりました。

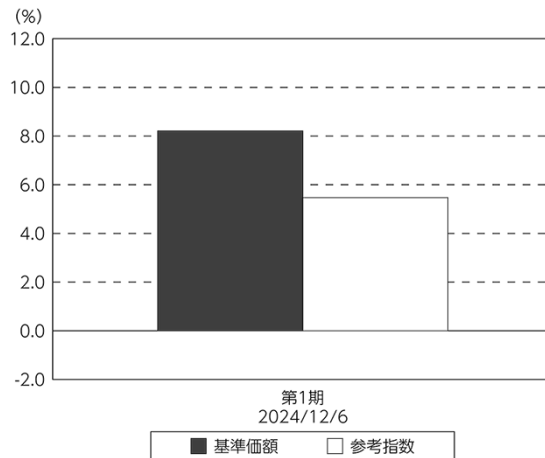
（主なプラス要因）

- ①資本財・サービスセクターや情報技術セクター内での銘柄選択効果がプラスに寄与したこと
- ②データセンター向け冷却装置需要の拡大などから中長期的な業績成長が期待できると判断し、オーバーウェイトとしていた米国の電気設備株や、データセンター向けを中心とした電力需要増加などを背景に中長期的な成長が期待できると判断し、オーバーウェイトとしていた米国の電力株の株価騰落率が参考指数を上回ったこと

（主なマイナス要因）

- ①株価騰落率が参考指数を下回ったヘルスケアセクターをオーバーウェイトとしていたこと、金融セクター内での銘柄選択効果がマイナスに影響したこと
- ②アトピー性皮膚炎や加齢に伴う眼の病気である黄斑変性などを対象とした主力薬の中長期的な成長が期待できると判断し、オーバーウェイトとしていた米国のバイオテクノロジー株の株価騰落率が参考指数を下回ったこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円ベース・為替ヘッジあり）です。

＜Aコース＞

◎分配金

- （１）収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、配当等収益を中心に、１万口当たり10円とさせていただきます。
- （２）留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項 目	第 1 期
	2024年 8 月19日～ 2024年12月 6 日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.092%
当期の収益	10
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	810

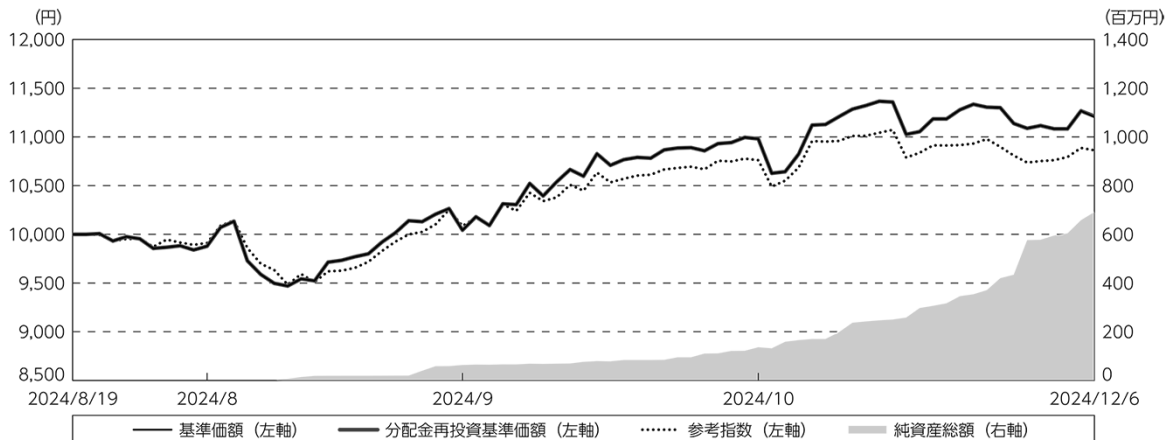
（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Ｂコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：11,203円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率： 12.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。参考指数は、設定時を10,000として計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (下 落) 8月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことなどから景気悪化懸念が強まったこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと
- (上 昇) FOMC（米連邦公開市場委員会）において政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRB（米連邦準備制度理事会）が労働市場を下支えする姿勢を明確化したこと、米半導体メーカーが9-11月期についてAI向けメモリー需要の高まりを受けて市場予想以上に好調な見通しを示したこと、9月の米非農業部門雇用者数が市場予想を上回り景気の底堅さが意識されたこと、トランプ米前大統領の再選により規制緩和によるM&A（企業の合併・買収）の活発化や減税の恒久化などが期待されたこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- (横ばい) トランプ米次期大統領が財務長官に経済成長を重視するベッセント氏を指名したことなどが好感されたこと、為替市場で円が上昇したこと

＜Bコース＞

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）の騰落率が8.6%の上昇となったのに対して、基準価額は12.1%の上昇となりました。

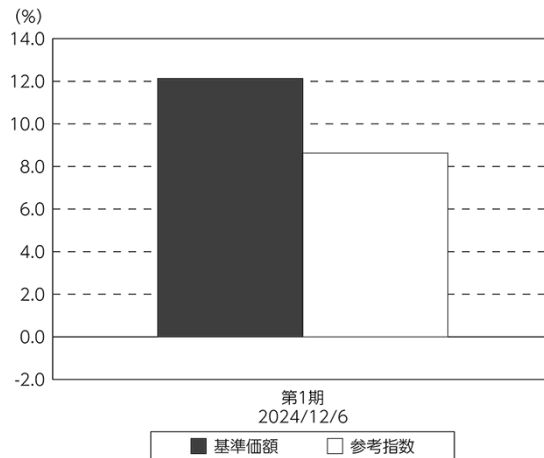
（主なプラス要因）

- ①資本財・サービスセクターや情報技術セクター内での銘柄選択効果がプラスに寄与したこと
- ②データセンター向け冷却装置需要の拡大などから中長期的な業績成長が期待できると判断し、オーバーウェイトとしていた米国の電気設備株や、データセンター向けを中心とした電力需要増加などを背景に中長期的な成長が期待できると判断し、オーバーウェイトとしていた米国の電力株の株価騰落率が参考指数を上回ったこと

（主なマイナス要因）

- ①株価騰落率が参考指数を下回ったヘルスケアセクターをオーバーウェイトとしていたこと、金融セクター内での銘柄選択効果がマイナスに影響したこと
- ②アトピー性皮膚炎や加齢に伴う眼の病気である黄斑変性などを対象とした主力薬の中長期的な成長が期待できると判断し、オーバーウェイトとしていた米国のバイオテクノロジー株の株価騰落率が参考指数を下回ったこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。

＜Bコース＞

◎分配金

- （１）収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、配当等収益を中心に、１万口当たり10円とさせていただきます。
- （２）留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項 目	第 1 期
	2024年 8 月19日～ 2024年12月 6 日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.089%
当期の収益	10
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,202

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜Aコース／Bコース＞

○投資環境

世界の株式市場は、設定時、8月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる50を5ヵ月連続で下回ったことなどから景気減速懸念が強まり、下落しました。その後は、FOMCにおいて政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRBが労働市場を下支えする姿勢を明確化したことや、米半導体メーカーが9-11月期についてAI向けメモリー需要の高まりを受けて市場予想以上に好調な見通しを示したことから上昇しました。10月に入ると、9月の米非農業部門雇用者数が市場予想を上回り景気の底堅さが好感されたことなどから上昇しました。11月上旬にはトランプ米前大統領の再選により規制緩和によるM&Aの活発化や減税の恒久化などが期待され、続伸しました。当期末にかけては、米半導体製造装置メーカーの2024年11月-2025年1月期の売上高見通しが市場予想を下回り、AI向け以外の半導体需要の弱さが嫌気された一方、トランプ米次期大統領が財務長官に経済成長を重視するベッセント氏を指名したことなどが好感され、当期において世界の株式市場は上昇しました。

為替市場では、設定時、景気悪化懸念による米利下げ期待などから日米金利差が縮小するとの見方が強まり、米ドル安・円高が進行しました。その後、米国景気の底堅さを背景に米ドル高・円安が進行しましたが、当期末にかけてはインフレ率の上昇を受けて日銀の追加利上げが実施され日米金利差が縮小するとの見方が強まり米ドル安・円高が進行し、期を通じては米ドル高・円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[グローバル・マルチテーマ マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 業種別配分につきましては、ヘルスケアセクターなどを期中平均でオーバーウェイト(参考指数に比べ高めの投資比率)としました。一方、素材セクターなどを期中平均でアンダーウェイト(参考指数に比べ低めの投資比率)としました。
- (2) テーマ別配分につきましては、「テクノロジーの社会への普及」や「IoT／生産回帰」などのテーマに関連する銘柄の投資比率を期中平均で高めにしました。期中の変化としては、「確立されたブランド価値」などのテーマに関連する銘柄の投資比率を引き上げた一方、「エンターテインメント／体験型消費」などのテーマに関連する銘柄の投資比率を引き下げました。

＜Aコース／Bコース＞

〔野村未来トレンド発見ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）〕

主要投資対象である〔グローバル・マルチテーマ マザーファンド〕受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図りました。

〔野村未来トレンド発見ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）〕

主要投資対象である〔グローバル・マルチテーマ マザーファンド〕受益証券を期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

◎今後の運用方針

〔グローバル・マルチテーマ マザーファンド〕

・投資環境

米国経済は、総じて堅調に推移しています。10月のCPI（消費者物価指数）上昇率は前年同月比+2.6%（9月同+2.4%）となり、物価動向は小幅な加速にとどまっています。インフレ率が落ち着きをみせる中、労働市場の冷え込みを避けるため、11月のFOMCは0.25%の利下げを決定しました。トランプ次期政権による大幅な政策変更が経済や金融市場に影響を及ぼす可能性は高いと考えられることから、今後の金融政策には注視が必要です。

・運用方針

グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマを複数選定し、関連する銘柄群を中心に成長性に着目した銘柄選択を行ないます。成長テーマの選定は、「新たな価値の創造」、「新興国へのトレンドの広まり」、「社会構造の変化」の観点から選定することを基本とします。成長テーマは必要に応じて入れ替えを行ないます。また、市場環境やマクロ経済動向も加味し、組入銘柄および組入比率、その結果としての成長テーマごとの投資比率を決定します。

＜Aコース／Bコース＞

AI、ビッグデータ、IoT（モノのインターネット）、自動運転、クラウドなど高い成長が期待されるテーマや、消費、ヘルスケアなど比較的安定的な成長が期待されるテーマにも注目してまいります。今後も政治情勢や金利動向なども考慮しつつ、「中長期成長期待への積極的投資」と「短期的な株式市場環境への対応」をバランスよく運用してまいります。

【野村未来トレンド発見ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）】

主要投資対象である〔グローバル・マルチテーマ マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

【野村未来トレンド発見ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）】

主要投資対象である〔グローバル・マルチテーマ マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 8 月19日～2024年12月 6 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 26	% 0.250	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(24)	(0.232)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(1)	(0.010)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(1)	(0.008)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.019	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.019)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.004	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.004)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.030	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0.028)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	31	0.303	
期中の平均基準価額は、10,324円です。			

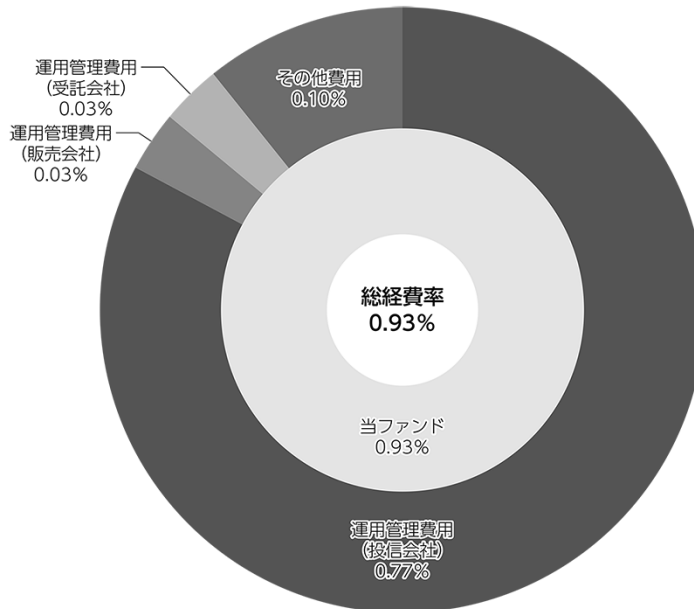
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.93%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注）当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2024年8月19日～2024年12月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・マルチテーマ マザーファンド	千口 14,598	千円 90,748	千口 1,703	千円 10,437

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年8月19日～2024年12月6日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル・マルチテーマ マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	90,718,877千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	143,623,433千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.63

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月19日～2024年12月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2024年8月19日～2024年12月6日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 9	百万円 —	百万円 —	百万円 9	当初設定時における取得

<Aコース>

○組入資産の明細 (2024年12月6日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
グローバル・マルチテーマ マザーファンド		千口 12,895	千円 82,472

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成 (2024年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバル・マルチテーマ マザーファンド	千円 82,472	% 97.1
コール・ローン等、その他	2,490	2.9
投資信託財産総額	84,962	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。
*グローバル・マルチテーマ マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（154,219,304千円）の投資信託財産総額（165,602,023千円）に対する比率は93.1%です。
*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝150.06円、1英ポンド＝191.43円、1デンマーククローネ＝21.28円、1ユーロ＝158.73円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年12月6日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	160,154,193
コール・ローン等	1,001,990
グローバル・マルチテーマ マザーファンド(評価額)	82,472,781
未収入金	76,679,416
未収利息	6
(B) 負債	75,335,151
未払金	75,196,974
未払収益分配金	78,458
未払信託報酬	59,507
その他未払費用	212
(C) 純資産総額(A－B)	84,819,042
元本	78,458,258
次期繰越損益金	6,360,784
(D) 受益権総口数	78,458,258口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,811円

(注) 期首元本額は9,000,000円、期中追加設定元本額は71,577,791円、期中一部解約元本額は2,119,533円、1口当たり純資産額は1.0811円です。

○損益の状況（2024年8月19日～2024年12月6日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	231
受取利息	231
(B) 有価証券売買損益	2,542,454
売買益	3,935,596
売買損	△1,393,142
(C) 信託報酬等	△ 67,419
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	2,475,266
(E) 追加信託差損益金	3,963,976
(配当等相当額)	(43)
(売買損益相当額)	(3,963,933)
(F) 計(D＋E)	6,439,242
(G) 収益分配金	△ 78,458
次期繰越損益金(F＋G)	6,360,784
追加信託差損益金	3,963,976
(配当等相当額)	(48,506)
(売買損益相当額)	(3,915,470)
分配準備積立金	2,396,808

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2024年8月19日～2024年12月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年8月19日～ 2024年12月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	80,774円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	2,394,492円
c. 信託約款に定める収益調整金	3,963,976円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	6,439,242円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	820円
g. 分配金	78,458円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細 (2024年 8 月19日～2024年12月 6 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 26	% 0.250	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(24)	(0.232)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(1)	(0.010)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(1)	(0.008)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.019	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.019)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.005)	
(d) そ の 他 費 用	0	0.002	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	29	0.276	
期中の平均基準価額は、10,497円です。			

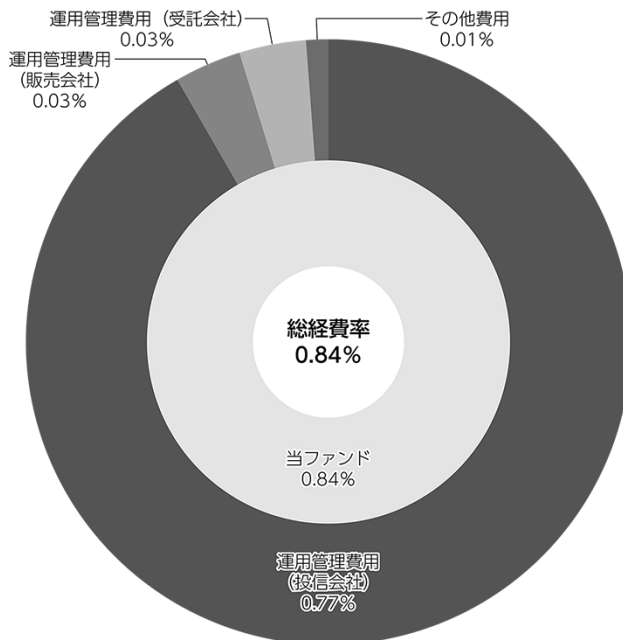
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.84%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注）当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2024年8月19日～2024年12月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・マルチテーマ マザーファンド	千口 107,921	千円 676,563	千口 12	千円 75

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年8月19日～2024年12月6日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル・マルチテーマ マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	90,718,877千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	143,623,433千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.63

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年8月19日～2024年12月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2024年8月19日～2024年12月6日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

<Bコース>

○組入資産の明細 (2024年12月6日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
グローバル・マルチテーマ マザーファンド		千口 107,909	千円 690,155

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成 (2024年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
グローバル・マルチテーマ マザーファンド	千円 690,155	% 99.6
コール・ローン等、その他	2,590	0.4
投資信託財産総額	692,745	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。
*グローバル・マルチテーマ マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（154,219,304千円）の投資信託財産総額（165,602,023千円）に対する比率は93.1%です。
*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝150.06円、1英ポンド＝191.43円、1デンマーククローネ＝21.28円、1ユーロ＝158.73円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年12月6日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	692,745,556
コール・ローン等	2,589,576
グローバル・マルチテーマ マザーファンド(評価額)	690,155,964
未収利息	16
(B) 負債	1,206,953
未払収益分配金	617,300
未払解約金	259,314
未払信託報酬	329,052
その他未払費用	1,287
(C) 純資産総額(A－B)	691,538,603
元本	617,300,989
次期繰越損益金	74,237,614
(D) 受益権総口数	617,300,989口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,203円

(注) 期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は616,774,764円、期中一部解約元本額は473,775円、1口当たり純資産額は1.1203円です。

○損益の状況（2024年8月19日～2024年12月6日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	229
受取利息	229
(B) 有価証券売買損益	13,662,639
売買益	13,677,023
売買損	△ 14,384
(C) 信託報酬等	△ 330,339
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	13,332,529
(E) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	61,522,385 (61,522,385)
(F) 計(D＋E)	74,854,914
(G) 収益分配金	△ 617,300
次期繰越損益金(F＋G)	74,237,614
追加信託差損益金 (配当等相当額)	61,522,385 (408,705)
(売買損益相当額)	(61,113,680)
分配準備積立金	12,715,229

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2024年8月19日～2024年12月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年8月19日～ 2024年12月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	527,358円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	12,805,171円
c. 信託約款に定める収益調整金	61,522,385円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	74,854,914円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,212円
g. 分配金	617,300円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2024年12月6日現在)

<グローバル・マルチテーマ マザーファンド>

下記は、グローバル・マルチテーマ マザーファンド全体(25,892,911千口)の内容です。

国内株式

銘		柄	当 期 末	
			株 数	評 価 額
その他製品（62.5%） アシックス			千株	千円
			1,026.9	3,175,174
サービス業（37.5%） リクルートホールディングス				
			171.1	1,902,632
合 計	株 数 ・ 金 額	1,198		5,077,806
	銘 柄 数 < 比 率 >	2		<3.1%>

*各銘柄の業種分類は、期末の時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	柄	当期末		業種等	
		株数	評価額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC		1,891	41,713	6,259,495	大規模小売り
ARISTA NETWORKS INC		1,625	17,366	2,605,984	通信機器
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC		1,627	10,766	1,615,687	バイオテクノロジー
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO		3,062	18,021	2,704,361	医薬品
BROADCOM INC		1,289	21,982	3,298,634	半導体・半導体製造装置
CDW CORPORATION		778	13,886	2,083,733	電子装置・機器・部品
COTERRA ENERGY INC		5,940	15,244	2,287,597	石油・ガス・消耗燃料
CINTAS CORP		890	19,886	2,984,160	商業サービス・用品
CONSTELLATION ENERGY		1,255	32,159	4,825,858	電力
COPART INC		1,733	10,732	1,610,533	商業サービス・用品
ARTHUR J GALLAGHER & CO		695	21,108	3,167,499	保険
HEICO CORP		673	18,130	2,720,618	航空宇宙・防衛
ICICI BANK LTD-SPON ADR		9,943	31,720	4,760,001	銀行
INSULET CORP		471	12,608	1,891,971	ヘルスケア機器・用品
INTUITIVE SURGICAL INC		567	31,082	4,664,310	ヘルスケア機器・用品
JOHNSON & JOHNSON		872	13,048	1,958,007	医薬品
KLA CORP		143	9,223	1,384,060	半導体・半導体製造装置
KKR & CO INC-A		1,037	16,288	2,444,182	資本市場
MSCI INC		277	16,942	2,542,328	資本市場
MAGNITE INC		7,273	12,705	1,906,652	メディア
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA		353	10,352	1,553,558	ホテル・レストラン・レジャー
MARVELL TECHNOLOGY INC		1,315	14,913	2,237,985	半導体・半導体製造装置
MASTERCARD INC		404	21,204	3,182,008	金融サービス
MCDONALD'S CORP		614	18,397	2,760,749	ホテル・レストラン・レジャー
MCKESSON CORP		342	20,827	3,125,390	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
MICROSOFT CORP		1,395	61,785	9,271,505	ソフトウェア
MICRON TECHNOLOGY		941	9,497	1,425,121	半導体・半導体製造装置
MOTOROLA SOLUTIONS INC		583	28,862	4,331,135	通信機器
NVIDIA CORP		4,888	70,906	10,640,271	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORPORATION		1,200	22,349	3,353,772	ソフトウェア
PROGRESSIVE CO		980	25,613	3,843,518	保険
QUANTA SERVICES INC		375	12,577	1,887,322	建設・土木
REGENERON PHARMACEUTICALS		122	9,386	1,408,584	バイオテクノロジー
SALESFORCE INC		628	22,704	3,406,971	ソフトウェア
SERVICENOW INC		212	23,907	3,587,505	ソフトウェア
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A		1,282	13,074	1,961,894	金融サービス
SOUTHERN CO.		1,310	11,298	1,695,474	電力
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A		832	11,338	1,701,458	資本市場
UBER TECHNOLOGIES INC		2,263	14,765	2,215,754	陸上運輸
UNITED RENTALS INC		138	11,847	1,777,850	商社・流通業
VERTEX PHARMACEUTICALS		280	12,882	1,933,126	バイオテクノロジー
VERTIV HOLDINGS CO		1,207	16,256	2,439,423	電気設備
WALMART INC		3,195	30,457	4,570,409	生活必需品流通・小売り
WELLS FARGO CO		1,393	10,266	1,540,537	銀行
ZSCALER INC		532	10,942	1,642,010	ソフトウェア
EATON CORP PLC		202	7,501	1,125,733	電気設備
LINDE PLC		210	9,434	1,415,678	化学
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A		7,565	9,048	1,357,856	銀行
SHARKNINJA INC		2,092	21,270	3,191,787	家庭用耐久財

銘柄		当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD		百株 609	千米ドル 15,300	千円 2,296,023	ホテル・レストラン・レジャー
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	79,528 50	963,588 —	144,596,103 <87.3%>	
(イギリス) ASTRAZENECA PLC		846	千英ポンド 8,987	1,720,517	医薬品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	846 1	8,987 —	1,720,517 <1.0%>	
(デンマーク) PANDORA A/S NOVO NORDISK A/S-B		279 1,090	千デンマーククローネ 32,968 84,040	701,576 1,788,382	繊維・アパレル・贅沢品 医薬品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,370 2	117,009 —	2,489,959 <1.5%>	
(ユーロ…フランス) SAFRAN SA		884	千ユーロ 18,732	2,973,458	航空宇宙・防衛
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	884 1	18,732 —	2,973,458 <1.8%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	82,629 54	— —	151,780,039 <91.7%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

銘柄		当 期 末			
		口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) WELLTOWER INC		口 78,219	千米ドル 10,372	千円 1,556,515	% 0.9
合 計	口 数 ・ 金 額	78,219	10,372	1,556,515	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<0.9%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

グローバル・マルチテーマ マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日2024年11月14日）

作成対象期間（2023年11月15日～2024年11月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	新興国を含む世界各国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマを複数選定し、関連する銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。成長テーマは随時見直しを行ない、それに伴い組入銘柄の変更を行ないます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	新興国を含む世界各国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落 中 率		騰 落 中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
7期(2020年11月16日)	27,844	26.5	182.44	9.4	94.4	—	43,699
8期(2021年11月15日)	37,793	35.7	251.83	38.0	96.6	—	113,138
9期(2022年11月14日)	34,839	△ 7.8	256.44	1.8	91.8	—	103,608
10期(2023年11月14日)	45,226	29.8	306.06	19.4	96.6	—	104,680
11期(2024年11月14日)	64,940	43.6	408.71	33.5	97.3	—	162,675

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指数（＝「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）」）は、MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、基準価額への反映を考慮して、営業日前日のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスを営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

*MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（出所）MSCI

○当期中の基準価額と市況等の推移

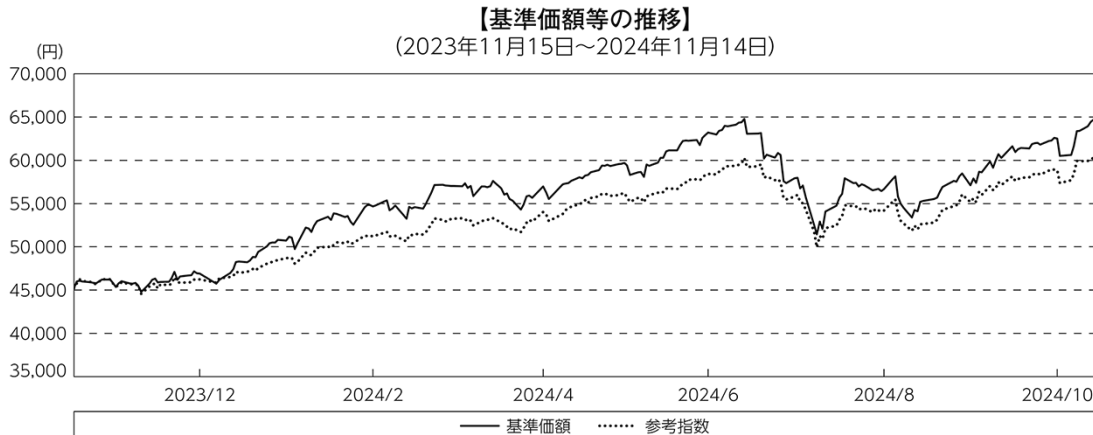
年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
	円	%		%	%	%
（期 首） 2023年11月14日	45,226	—	306.06	—	96.6	—
11月末	45,765	1.2	307.85	0.6	93.2	—
12月末	46,912	3.7	312.97	2.3	94.8	—
2024年1月末	51,067	12.9	329.76	7.7	97.1	—
2月末	54,661	20.9	346.45	13.2	98.0	—
3月末	57,035	26.1	360.44	17.8	97.4	—
4月末	56,992	26.0	365.61	19.5	97.0	—
5月末	58,309	28.9	373.53	22.0	95.5	—
6月末	63,214	39.8	395.47	29.2	97.9	—
7月末	56,756	25.5	373.58	22.1	93.4	—
8月末	56,675	25.3	366.82	19.9	93.5	—
9月末	57,107	26.3	373.28	22.0	92.6	—
10月末	62,511	38.2	398.27	30.1	93.1	—
（期 末） 2024年11月14日	64,940	43.6	408.71	33.5	97.3	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首45,226円から期末64,940円となりました。

- (上昇) FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ状況を判断する上で重視するPCE（個人消費支出）コア価格指数が、2023年12月のデータにおいて前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったこと、複数の米IT企業が10-12月期決算で市場予想を上回ったこと、米半導体メーカーの2024年2-4月期業績見通しがAI向け需要の強さから市場予想を大きく上回ったこと
- (下落) FOMC（米連邦公開市場委員会）メンバーであるリッチモンド連銀のバーキン総裁がインフレ抑制に関して時間をかけて対応することが賢明だと述べたことにより早期の利下げ期待が後退したこと
- (上昇) 4月の米雇用統計において雇用者数や平均時給の伸び率が市場予想を下回り、早期の利下げへの期待が高まったこと、企業向けにネットワーク機器などを提供する米IT企業のAI向けサーバー事業の2-4月期売上高が急増したことが好感されたこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- (下落) 中国の4-6月期の実質GDP（国内総生産）成長率が市場予想を下回ったこと、米国が同盟各国に中国向け半導体輸出に関する規制強化を要請し、米半導体メーカーの業績への悪影響が懸念されたこと、8月の米ISM製造業景況指数が景気判断の節目となる

50を5ヵ月連続で下回ったことなどから景気悪化懸念が強まったこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと

- （上昇）FOMCにおいて政策金利の0.5%引き下げが決定され、FRBが労働市場を下支えする姿勢を明確化したこと、米半導体メーカーが9-11月期についてAI向けメモリー需要の高まりを受けて市場予想以上に好調な見通しを示したこと、9月の米非農業部門雇用者数が市場予想を上回り景気の底堅さが意識されたこと、為替市場で円が下落したこと

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

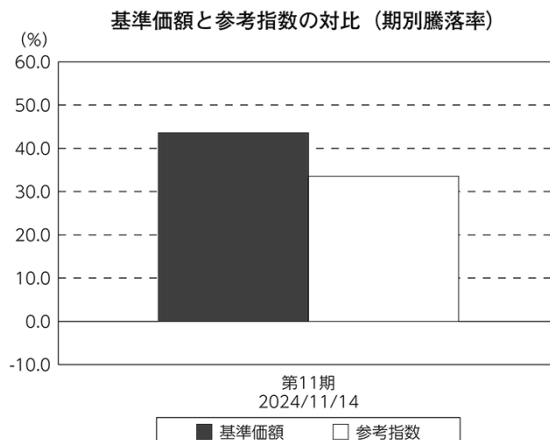
- （１）業種別配分につきましては、情報技術セクターなどを期中平均でオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）としました。一方、生活必需品セクターなどを期中平均でアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。
- （２）テーマ別配分につきましては、「AI/ビッグデータ」や「テクノロジーの社会への普及」などのテーマに関連する銘柄の投資比率を期中平均で高めにしました。前期末から当期末への変化としては、「高齢化社会」などのテーマに関連する銘柄の投資比率を引き上げた一方、「AI/ビッグデータ」などのテーマに関連する銘柄の投資比率を引き下げました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）の騰落率が33.5%の上昇となったのに対して、基準価額は43.6%の上昇となりました。



（注）参考指数は、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。

(主なプラス要因)

- ①資本財・サービスセクターやコミュニケーション・サービスセクター内での銘柄選択効果がプラスに寄与したこと
- ②生成AIの利用拡大により、データセンター向け半導体の売り上げ拡大が期待できると判断し、オーバーウェイトとしていた米国の半導体・半導体製造装置株や、手術支援ロボットを利用した外科手術への中長期的な需要の高まりにより恩恵を受けると判断し、オーバーウェイトとしていた米国のヘルスケア機器・用品株の株価騰落率が参考指数を上回ったこと

(主なマイナス要因)

- ①金融セクター内での銘柄選択効果がマイナスに影響したこと、株価騰落率が参考指数を上回った同セクターをアンダーウェイトとしていたこと
- ②連続的に生成される大量のデータを処理するソフトウェアへの需要が中長期的に拡大すると判断し、オーバーウェイトとしていた米国のソフトウェア株や、希少遺伝子疾患である軟骨無形成症の治療薬において適用年齢の引き下げや治療対象範囲の拡大が達成されることによって中長期的な業績成長が期待できると判断し、オーバーウェイトとしていた米国のバイオテクノロジー株の株価騰落率が参考指数を下回ったこと

◎今後の運用方針**・投資環境**

米国経済は、内需に支えられ堅調に推移しています。7-9月期の実質GDP成長率は前期比年率+2.8%となり4-6月期に続き高水準でした。また、10月のCPI（消費者物価指数）上昇率は前年同月比+2.6%と落ち着いており、食品・エネルギーを除くコアインフレ率は同+3.3%にとどまりました。9月のFOMCでは、政策金利は0.5%の大幅利下げが決定され、11月も0.25%の利下げが決定されました。今後の金融政策や地政学リスクの高まり、トランプ次期米政権の下で実施される経済政策、外交政策などに注視が必要です。

・運用方針

グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマを複数選定し、関連する銘柄群を中心に成長性に着目した銘柄選択を行ないます。成長テーマの選定は、「新たな価値の創造」、「新興国へのトレンドの広まり」、「社会構造の変化」の観点から選定することを基本とします。成長テーマは必要に応じて入れ替えを行ないます。また、市場環境やマクロ経済動向も加味し、組入銘柄および組入比率、その結果としての成長テーマごとの投資比率を決定します。

AI、ビッグデータ、IoT（モノのインターネット）、自動運転、クラウドなど高い成長が期待されるテーマや、消費、ヘルスケアなど比較的安定的な成長が期待されるテーマにも注目してまいります。今後も政治情勢や金利動向なども考慮しつつ、「中長期成長期待への積極的投資」と「短期的な株式市場環境への対応」をバランスよく運用してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月15日～2024年11月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 36 (36) (0)	% 0.065 (0.065) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	9 (9)	0.017 (0.017)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (2) (1)	0.005 (0.004) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	48	0.087	
期中の平均基準価額は、55,583円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年11月15日～2024年11月14日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 1,551 (594)	千円 6,548,151 (—)	千株 188	千円 2,548,089
	アメリカ	百株 73,171 (6,801)	千米ドル 741,125 (—)	百株 54,551	千米ドル 713,545
外 国	イギリス	846	千英ポンド 10,494	—	千英ポンド —
	スイス	—	千スイスフラン —	1,995	千スイスフラン 9,938
	デンマーク	1,370	千デンマーククローネ 142,458	—	千デンマーククローネ —
	ユーロ	—	千ユーロ	—	千ユーロ
	イタリア	—	—	384	12,611
	フランス	884	18,995	403	5,269

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	WELLTOWER INC	78,219	9,721	—	—

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年11月15日～2024年11月14日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	241,443,162千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	125,223,047千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.92

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月15日～2024年11月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年11月14日現在)

国内株式

銘		柄	期首(前期末)	当 期		末		
			株 数	株 数	評 価	額		
機械（－％） ダイキン工業 電気機器（－％） キーエンス 輸送用機器（18.9％） トヨタ自動車 その他製品（36.8％） アシックス 保険業（21.6％） 東京海上ホールディングス サービス業（22.7％） リクルートホールディングス			千株	千株	千円			
			37.7	－	－			
			18.8	－	－			
			－	534.9	1,426,043			
			－	1,026.9	2,779,304			
			－	281.2	1,637,708			
			－	171.1	1,716,988			
			株 数 ・ 金 額		56	2,014	7,560,045	
			銘 柄 数 < 比 率 >		2	4	<4.6%>	

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	業 種 等		
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AKAMAI TECHNOLOGIES	720	—	—	—	情報技術サービス
ALPHABET INC-CL A	2,372	—	—	—	インタラクティブ・メディアおよびサービス
AMAZON.COM INC	1,868	1,891	40,493	6,307,653	大規模小売り
APPLE INC	608	—	—	—	コンピュータ・周辺機器
ARISTA NETWORKS INC	775	406	16,059	2,501,557	通信機器
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	2,097	—	—	—	ソフトウェア
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	918	1,627	10,848	1,689,842	バイオテクノロジー
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	—	3,062	17,890	2,786,751	医薬品
BROADCOM INC	—	1,289	22,383	3,486,621	半導体・半導体製造装置
CDW CORPORATION	—	778	14,486	2,256,555	電子装置・機器・部品
CME GROUP INC	—	234	5,343	832,285	資本市場
COTERRA ENERGY INC	5,611	5,940	15,214	2,370,017	石油・ガス・消耗燃料
CINTAS CORP	213	890	19,922	3,103,262	商業サービス・用品
CONSTELLATION ENERGY	677	1,255	28,375	4,420,103	電力
COPART INC	1,639	1,733	10,042	1,564,340	商業サービス・用品
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	1,298	—	—	—	ソフトウェア
DEVON ENERGY CORP	2,108	—	—	—	石油・ガス・消耗燃料
META PLATFORMS INC-CLASS A	641	—	—	—	インタラクティブ・メディアおよびサービス
ARTHUR J GALLAGHER & CO	—	695	20,742	3,231,057	保険
HEICO CORP	435	673	18,457	2,875,047	航空宇宙・防衛
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	376	—	—	—	コングロマリット
ICICI BANK LTD-SPON ADR	3,156	9,943	29,562	4,605,006	銀行
IDEXX LABORATORIES INC	347	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
INSULET CORP	—	471	12,677	1,974,826	ヘルスケア機器・用品
INTEL CORP	1,894	—	—	—	半導体・半導体製造装置
INTUITIVE SURGICAL INC	536	567	30,460	4,744,896	ヘルスケア機器・用品
JOHNSON & JOHNSON	—	872	13,372	2,083,080	医薬品
JUNIPER NETWORKS INC	1,617	—	—	—	通信機器
KLA CORP	—	143	9,251	1,441,063	半導体・半導体製造装置
KKR & CO INC-A	—	1,037	15,778	2,457,859	資本市場
KENVUE INC	2,974	—	—	—	パーソナルケア用品
LAMB WESTON HOLDINGS INC	729	—	—	—	食品
MSCI INC	262	277	16,959	2,641,750	資本市場
MAGNITE INC	—	7,273	12,218	1,903,297	メディア
MARKETAXESS HOLDINGS INC	349	—	—	—	資本市場
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA	—	353	10,140	1,579,535	ホテル・レストラン・レジャー
MARVELL TECHNOLOGY INC	—	1,315	11,848	1,845,687	半導体・半導体製造装置
MASTERCARD INC	572	404	21,088	3,284,897	金融サービス
MCDONALD'S CORP	—	614	18,267	2,845,512	ホテル・レストラン・レジャー
MCKESSON CORP	—	342	21,413	3,335,528	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
MICROSOFT CORP	861	1,395	59,353	9,245,520	ソフトウェア
MICRON TECHNOLOGY	2,734	941	9,407	1,465,416	半導体・半導体製造装置
MOTOROLA SOLUTIONS INC	—	583	28,963	4,511,655	通信機器
NATERA INC	1,227	—	—	—	バイオテクノロジー
NVIDIA CORP	893	4,888	71,498	11,137,280	半導体・半導体製造装置
ORACLE CORPORATION	1,719	1,200	22,756	3,544,757	ソフトウェア
PTC INC	1,221	—	—	—	ソフトウェア
PROGRESSIVE CO	—	980	25,621	3,990,991	保険
QUALCOMM INC	532	—	—	—	半導体・半導体製造装置
QUANTA SERVICES INC	542	375	12,273	1,911,821	建設・土木
REGENERON PHARMACEUTICALS	—	122	9,832	1,531,550	バイオテクノロジー

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
SERVICENOW INC		373	212	22,244	3,464,959	ソフトウェア
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A		—	1,282	12,999	2,024,961	金融サービス
SNOWFLAKE INC-CLASS A		622	—	—	—	情報技術サービス
SOUTHERN CO.		—	1,310	11,472	1,787,148	電力
TESLA INC		916	—	—	—	自動車
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A		—	832	10,609	1,652,667	資本市場
UBER TECHNOLOGIES INC		—	2,263	16,108	2,509,163	陸上運輸
UNITED RENTALS INC		275	138	11,900	1,853,788	商社・流通業
VERTEX PHARMACEUTICALS		193	280	13,854	2,158,041	バイオテクノロジー
VERTIV HOLDINGS CO		—	1,207	15,042	2,343,147	電気設備
WALMART INC		—	3,195	27,325	4,256,446	生活必需品流通・小売り
WORKDAY INC-CLASS A		674	—	—	—	ソフトウェア
ZSCALER INC		1,051	532	11,168	1,739,640	ソフトウェア
EATON CORP PLC		667	202	7,473	1,164,191	電気設備
JOHNSON CONTROLS INTERNATIONAL PLC		1,557	—	—	—	建設関連製品
LINDE PLC		229	210	9,595	1,494,641	化学
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A		—	7,565	11,832	1,843,224	銀行
SHARKNINJA INC		—	2,092	21,362	3,327,578	家庭用耐久財
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD		—	609	14,271	2,223,099	ホテル・レストラン・レジャー
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	51,100 44	76,522 49	920,265 —	143,349,736 <88.1%>	
(イギリス)				千英ポンド		
ASTRAZENECA PLC		—	846	8,586	1,699,695	医薬品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	— —	846 1	8,586 —	1,699,695 <1.0%>	
(スイス)				千スイスフラン		
ABB LTD		1,995	—	—	—	電気設備
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	1,995 1	— —	— —	— <—%>	
(デンマーク)				千デンマーククローネ		
PANDORA A/S		—	279	30,574	674,482	繊維・アパレル・贅沢品
NOVO NORDISK A/S-B		—	1,090	82,405	1,817,865	医薬品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	— —	1,370 2	112,980 —	2,492,348 <1.5%>	
(ユーロ…イタリア)				千ユーロ		
FERRARI NV		384	—	—	—	自動車
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	384 1	— —	— —	— <—%>	
(ユーロ…フランス)						
TELEPERFORMANCE		403	—	—	—	専門サービス
SAFRAN SA		—	884	19,360	3,185,572	航空宇宙・防衛
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	403 1	884 1	19,360 —	3,185,572 <2.0%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	788 2	884 1	19,360 —	3,185,572 <2.0%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	53,884 47	79,622 53	— —	150,727,352 <92.7%>	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

*株数・評価額の単位未満は切り捨て。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

銘 柄		期首(前期末)		当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
WELLTOWER INC		—	78,219	10,555	1,644,254	1.0
合 計	口 数 ・ 金 額	—	78,219	10,555	1,644,254	
	銘 柄 数 < 比 率 >	—	1	—	<1.0%>	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。
*金額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成 (2024年11月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	158,287,398	97.3
投資証券	1,644,254	1.0
コール・ローン等、その他	2,743,711	1.7
投資信託財産総額	162,675,363	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。
*当期末における外貨建純資産（153,860,899千円）の投資信託財産総額（162,675,363千円）に対する比率は94.6%です。
*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝155.77円、1英ポンド＝197.95円、1デンマーククローネ＝22.06円、1ユーロ＝164.54円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	162,675,363,769
コール・ローン等	2,685,165,032
株式(評価額)	158,287,398,170
投資証券(評価額)	1,644,254,231
未収配当金	58,538,479
未収利息	7,857
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	162,675,363,769
元本	25,050,234,861
次期繰越損益金	137,625,128,908
(D) 受益権総口数	25,050,234,861口
1万口当たり基準価額(C／D)	64,940円

(注) 期首元本額は23,145,766,941円、期中追加設定元本額は13,360,158,939円、期中一部解約元本額は11,455,691,019円、1口当たり純資産額は6.4940円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・野村未来トレンド発見ファンド Bコース (為替ヘッジなし) 10,438,728,176円
- ・野村未来トレンド発見ファンド Dコース (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型 9,317,242,294円
- ・グローバル・マルチテーマオープン (適格機関投資家専用) 2,450,878,024円
- ・野村未来トレンド発見ファンド Aコース (為替ヘッジあり) 1,479,652,037円
- ・野村未来トレンド発見ファンド Cコース (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型 957,230,108円
- ・ラップ専用・世界株式アクティブ (グローバル・マルチテーマ) 327,159,056円
- ・野村未来トレンド発見ファンド Bコース (野村SMA・EW向け) 37,921,824円
- ・野村DC世界株式トレンドファンド 35,671,083円
- ・野村未来トレンド発見ファンド Aコース (野村SMA・EW向け) 5,752,259円

○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。

＜変更適用日：2024年7月4日＞

○損益の状況 (2023年11月15日～2024年11月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	892,887,177
受取配当金	753,149,551
受取利息	132,860,939
その他収益金	6,987,869
支払利息	△ 111,182
(B) 有価証券売買損益	45,037,096,164
売買益	52,783,731,522
売買損	△ 7,746,635,358
(C) 保管費用等	△ 6,948,595
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	45,923,034,746
(E) 前期繰越損益金	81,534,359,397
(F) 追加信託差損益金	61,654,093,583
(G) 解約差損益金	△ 51,486,358,818
(H) 計(D＋E＋F＋G)	137,625,128,908
次期繰越損益金(H)	137,625,128,908

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。